

経営比較分析表（令和5年度決算）

北海道 湧別町

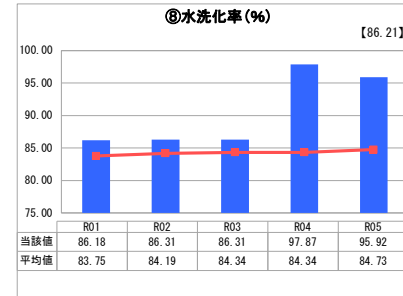
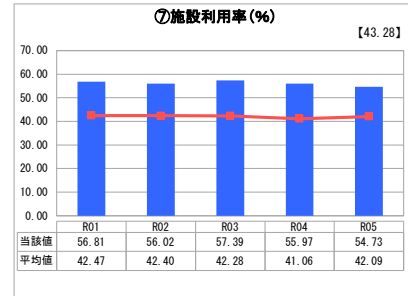
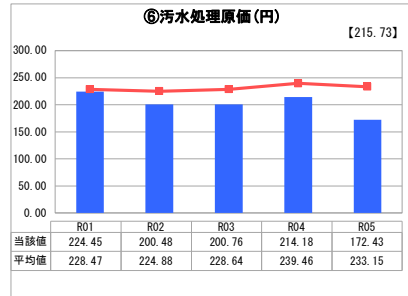
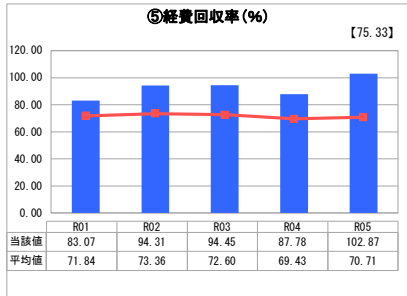
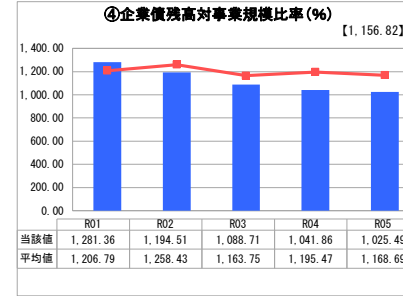
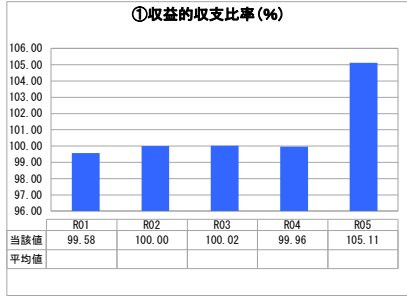
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	63.60	86.48	3,468

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,983	505.79	15.78
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,022	2.98	1,685.23

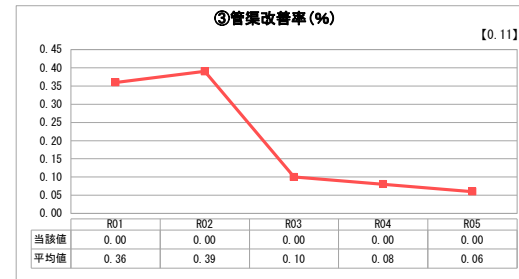
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、100%を超えておりますが一般会計からの繰入金により均衡を保っている状況です。収益的収支比率につきましては昨年と比べ工事・修繕費が減額していることから増加しております。その他の項目については、概ね平均より良好な経営状況を維持しております。水洗化率については令和4年度以降算出数値の見直し・修正により急上昇している原因となっております。ここ数年は大きな変化はありませんが人口減に伴い水洗化率も若干減少傾向にあります。今後水洗化の普及向上に努め、使用量収入の増加、コスト削減等の経営改善を進め、独立採算制を高めることを目指しています。

2. 老朽化の状況について

下水道終末処理場は、平成14年度供給開始をしており、平成28年度に策定した長寿命化計画により計画的に更新していく予定となっております。下水道管渠は耐震年数前であるため更新予定はありませんが、カメラ調査の定期的な維持管理を実施します。令和元年～2年度の2カ年で策定された処理場及び管渠のストックマネジメント計画に基づき更新を行う予定です。

全体総括

本町の下水道事業については、処理区域の整備がほぼ終了しており、今後は施設の維持・更新に重点が置かれていくこととなります。平成28年度に長寿命化計画を策定し計画的な更新を進めていくとともに、同年に下水道事業経営戦略を策定し平成29年度から運用を開始しています。令和6年度より公営企業会計が適用となったことから、経営状況・財政状況が明確化されることで、これまでより一層経営の健全化を図ってまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。